

プログラム 2月7日(土)

第1会場 大ホール (2階)

開会式 9:50~10:10

会頭講演 10:10~10:50

座長：倉重 弘 (倉重こどもクリニック 院長)

その子の小さな手に大きな未来を～子どもたちと共に創る社会へ～

講師：竹中佐江子 (株式会社リニエR 取締役)

教育講演① 11:00~12:00

座長：加勢 泰庸 (株式会社リニエR 山形県統括責任者)

発達障害のある子どもたちの未来を共に創る

－多職種連携による包括的支援に向けて－

講師：佐竹 真次 (山形県立保健医療大学 特任教授)

ランチョンセミナー 12:20~13:20

共催：株式会社奏音

医療・福祉・教育がつながる通信制高校

－森川ハイスクールが奏でるこれからの教育のカタチ－

講師：森川 敦子 (株式会社奏音 代表取締役、株式会社奏音 まつやま 代表取締役、一般財団法人K-education 理事長)

会員総会 13:20~13:35

教育講演② 14:00~15:00

座長：本田 真美 (医療法人社団のびた あのねコドモくりにつく 院長)

医療的ケア児の暮らしを支え、未来を拓く

－在宅医療における多職種連携の重要性－

講師：田中総一郎 (医療法人財団はるたか会 あおぞら診療所ほっこり仙台 院長)

(1) こども家庭庁からの講演

5歳児健診に関するこども家庭庁の取組について

講師：中村 早希（こども家庭庁 成育局 母子保健課 課長補佐）

(2) シンポジウム

座長：後藤 順子（山形県難病相談支援センター センター長、羽陽学園短期大学 幼児教育科）

5歳児健診の現状と山形県での取り組みについて

シンポジスト：橋本 基也（橋本こどもクリニック 院長）

遠藤 美雪（上山市子ども子育て課母子保健係副主幹兼母子保健係長）

加勢 泰庸（株式会社リニエR 山形県統括責任者）

第2会場 スタジオ1（2階）

口述発表：小児診療・外科的領域（症例・診断・調査・薬等） 10:10~11:20

座長：神田 進（青森新都市病院 内科医）

01-1-1 小児腎疾患患者に対するプレパレーションツールの開発の取り組み

群馬大学医学部附属病院 山田 治美

01-1-2 事前情報のない小児の血液培養から*Brucella melitensis*を検出した1症例

神戸市立医療センター 西市民病院 臨床検査技術部 高久 優希

01-1-3 園における眼鏡装用状況に関するアンケート調査

山形大学 林 思音

01-1-4 ケトン性低血糖における肝臓超音波検査でのstarry sky liver signの定量化と有用性の検討

広島市立舟入市民病院 小児科 佐藤 友紀

01-1-5 当院で経験したもやもや病の5症例の検討

大津赤十字病院小児科 松井 瞳

01-1-6 日本における新生児のチャイルドシート使用実態と保護者認識の調査

東京慈恵会医科大学 小児科学講座 平野 大志

01-1-7 3歳児検尿が診断契機となったシスチン尿症の1例

名寄市立総合病院 小児科 土川 颯

口述発表：小児眼科・精神・心理支援・自由演題 11：20～12：30

座長：大貫二三恵（北里大学医療衛生学部 研究員）

- プログラム
- 1-2-1 Spot™ Vision Screener測定時の照度環境が屈折値に及ぼす影響
国際医療福祉大学 保健医療学部 視機能療法学科 漆原 美希
 - 1-2-2 遮光による羞明軽減に伴い頭痛も軽減した小児片頭痛の2例
神奈川歯科大学附属横浜クリニック 眼科 栗原 彩花
 - 1-2-3 色覚異常と判定された児童とその保護者に「色覚相談」を実施した1例
松弘会三愛病院 診療技術部 視能訓練士科 湯田 結香
 - 1-2-4 視覚補助具を使用し就学している2症例
福島県立医科大学 松野 希望
 - 1-2-5 発達障害児の発想力と考える力を成長させるアプローチ「自分をうりこむ名前デザイン」
一般社団法人みくりエイティブ 本田 晶大
 - 1-2-6 九州大学医療×デザインプロジェクト：小児外科との連携
九州大学病院 国際医療部 工藤孔梨子
 - 1-2-7 現代アートで子どもたちを元気に！クリニック美術館計画—番外 復興支援船—
まつだクリニック 松田 明

口述発表：小児診療・外科的領域（薬） 12：50～13：40

座長：阪本 浩一（大阪公立大学大学院医学研究科 聴覚言語情報機能病態学寄附講座）

- 1-3-1 小児科クリニックにおけるマクロゴール4000（モビコール）の処方状況と効果
たかのこどもクリニック 高野 智子
- 1-3-2 市販薬のオーバードーズで急性カフェイン中毒を呈した1例
東京慈恵会医科大学附属柏病院 小児科 及川 輝
- 1-3-3 トスフロキサシントシル酸塩内服中に尿中薬剤結晶を認めた小児例
—単施設症例の集積—
昭和医科大学江東豊洲病院 こどもセンター小児内科 松橋 一彦
- 1-3-4 薬物過量内服の症例提示と当院の対応について
名古屋掖済会病院小児科 月野 愛子
- 1-3-5 意識障害で搬送された大麻中毒の2例
順天堂大学附属練馬病院 臨床研修センター 白井鈴太郎

口述発表：小児診療・外科的領域（症例・診断・調査・薬等）

13：40～14：40

座長：鈴木 真嘉（公立相馬総合病院 小児科）

- 1-4-1 **乳児の意識障害を引き起こしたと思いきベンゾジアゼピン類を検出した一例**
医療法人宇治徳洲会病院 検査科 細川 詩奈
- 1-4-2 **幼児を対象とした食物経口負荷試験における輸液ライン確保に向けた効果的な支援**
東京慈恵会医科大学附属第三病院 看護部 菅野 桃代
- 1-4-3 **薬局が行う地域活動～居場所づくりの取組～**
株式会社水戸薬局、kuuma 今西 利香
- 1-4-4 **救急認定薬剤師を活用した薬物乱用防止の展望**
社会医療法人豊生会 東苗穂病院 薬剤科 武田 元樹
- 1-4-5 **高校生のODの実態と薬物乱用防止教室に持つ感想の調査及び、調査にもとづく今後の展望について**
ひとみ薬局愛野店 山口 剛徳
- 1-4-6 **ADHD薬治療が家族関係を改善したASD/ADHD女児例**
市立芦屋病院 小児科、横浜医療福祉センター港南 神経小児科 松本 貴子

口述発表：多職種連携・チーム医療（PT・OT・ST・多職種）

14：50～15：50

座長：志賀美代子（倉重こどもクリニック）

- 1-5-1 **NICU/GCUからの退院時訪問の取り組み～作業療法士の役割～**
加古川中央市民病院 リハビリテーション室 井澤ありさ
- 1-5-2 **知的発達症、自閉スペクトラム症を併存し、有意味語発話のない児に対するST指導経過**
国際医療福祉大学 保健医療学部 言語聴覚学科 三森 千種
- 1-5-3 **吃音のある児とその保護者を対象としたグループ療育**
学校法人原田学園 原田学園 ことばの支援センター 南 久美
- 1-5-4 **沖縄県八重山地域におけるオンライン言語聴覚療法の試み、経過と展望**
一般社団法人Coco-on、一般社団法人八重山地域リハビリテーション支援ユニット 矢崎 真一
- 1-5-5 **児童精神科通院中の中学生による薬物過量服薬への小児科対応と連携課題**
NHO嬉野医療センター小児科、佐賀大学医学部小児科 一ノ瀬文男
- 1-5-6 **夜尿症の疾患啓発について**
～パンフレットを用いたアンメット・ニーズへのアプローチ～
順天堂大学医学部附属浦安病院 小児科 西崎 直人

口述発表：多職種連携・チーム医療（疾患・多職種） 15：50～16：40

座長：松田 友美（山形大学 大学院医学系研究科看護学専攻 在宅看護学分野 教授）

- 1-6-1 膠原病と診断された児に関わる教職員の困難感とニーズ—北海道の小・中学校の調査—
北海道小児膠原病の会 さくましほこ
- 1-6-2 小児心臓移植術後の生活の質改善へのフォローアップに向けた実態把握—退院後の患者家族の戸惑いについて—
大阪大学医学部附属病院 看護部 小池みどり
- 1-6-3 診療科別の多職種連携ケアにおける落とし穴（未熟性）
社会福祉法人若楠・児童発達支援センター 橋本 武夫
- 1-6-4 超早産児の発達神経症への対応としての多職種カンファレンスの取り組み
高槻病院 新生児科 池上 等
- 1-6-5 山形県鶴岡市における多職種連携による神経発達症児の診療
鶴岡協立病院附属クリニック小児科 石川 充

口述発表：多職種連携・チーム医療（健診） 16：50～18：00

座長：森川 敦子（株式会社奏音 代表取締役、K教育財団 理事長）

- 1-7-1 当院における新生児聴覚スクリーニング検査の現況
JA秋田厚生連 由利組合総合病院 臨床検査科 三上 絢子
- 1-7-2 他機関連携による5歳児健診・相談事業等の実施について
天童市健康福祉部こども家庭センター 東海林千秋
- 1-7-3 乳幼児健診後のフォローアップ「ことばの相談会」への取り組み
NPO法人にじ こども発達相談センターにじいろ 福山 愛海
- 1-7-4 乳幼児健診に携わる専門職への小児吃音に関する理解支援
久保田 功
- 1-7-5 多職種連携で行う乳児健診の利点と課題
長野中央クリニック、長野中央病院 関 千夏
- 1-7-6 5歳児健診・相談事業における第三者評価シートの活用
福島県立医科大学 ふくしま子ども・女性医療支援センター（元 山形大学医学部看護学科） 横山 浩之
- 1-7-7 教育委員会と連携した福島県新地町における5歳児健康診査の取り組み
公立相馬総合病院小児科、福島県立医科大学小児科学講座 鈴木 真嘉

口述発表：自由演題 18：00～18：50

座長：倉重 弘（倉重こどもクリニック 院長）

- 1-8-1 小児患者における呼吸機能検査妥当性に及ぼす年齢、検査経験の影響について
東京女子医科大学病院 大瀨 耕平
- 1-8-2 小児における原発性リンパ管型皮膚ノカルジア症の一例
独立行政法人労働者健康安全機構 山陰労災病院 中央検査部 黒見 晃行
- 1-8-3 複雑な病態を抱えた患児の急変予知の一例
山形大学医学部附属病院 高橋 聡美
- 1-8-4 小児四肢疼痛発作症の3例
西部島根医療福祉センター 小児科、鳥取大学医学部 脳神経小児科 熊崎 健介
- 1-8-5 低酸素性虚血性脳症の新生児に対する臍帯血幹細胞療法の長期予後
倉敷中央病院 小児科 澤田真理子

第4会場 練習室1（2階）

ポスター発表：教育・学習・学校支援／ハビリテーション支援（研究） 10：10～10：58

座長：池田 純平（東京リハビリ整形外科クリニックおおた）

- P1-1-1 健常児者におけるセンサーを用いた上肢の空間操作機能を要するゲームの信頼性・妥当性
福島県立医科大学 保健科学部 理学療法学科 吉田 達哉
- P1-1-2 健常児者におけるセンサーを用いたバランス課題の信頼性・妥当性
福島県立医科大学 保健科学部 理学療法学科 佐藤 優香
- P1-1-3 健常中学生におけるランドセル症候群と健康関連QOLの特徴
福島県立医科大学 保健科学部 理学療法学科 高野 香苗
- P1-1-4 健常小学生におけるランドセル症候群と歩行パラメーターの特徴
福島県立医科大学 保健科学部 理学療法学科 三田 小晴
- P1-1-5 加速度センサーを用いたゲーム課題が健常児者のYバランステストに及ぼす影響
福島県立医科大学 保健科学部 理学療法学科 久永 佑真
- P1-1-6 健常小学生の睡眠における朝の症状や不眠と1週間の日中の合計運動時間の関係性
福島県立医科大学 保健科学部 理学療法学科 佐藤 幸大

ポスター発表：自由演題 11:00~11:56

座長：小林英利奈（株式会社リニエL リニエプラッツ本町）

- P1-2-1 認定こども園と言語聴覚士養成校による「ことばの発達チェック」の取り組みについて
学校法人原田学園 鹿児島医療技術専門学校 言語聴覚療法学科、学校法人原田学園 子ども・子育て支援センター しらゆき 福元 恵美
- P1-2-2 他者への働きかけを促進するわらべうた遊びの実践
広島県呉特別支援学校 大本美智子
- P1-2-3 円窓付き鉄製ドアに、ステンドグラスをはめ込んでみた。
医療法人倉重こどもクリニック 楠 美由紀
- P1-2-4 ADHD児における身体活動とメンタルヘルスの関連：スコーピングレビュー
山形県立保健医療大学 保健医療学部 理学療法学科 桜井 優斗
- P1-2-5 SDGs開発評価を活用した障害者就労継続支援と伝統産業協働の再構築
—QOL・QWL向上に向けた地域政策モデルの考察—
東京福祉大学大学院 社会福祉学研究科 蟻沢多佳子
- P1-2-6 不整地マット使用による幼児の足底圧力の変化について
広島都市学園大学 健康科学部 リハビリテーション学科 平尾 文
- P1-2-7 重症心身型放課後等デイサービスの安定経営
～リニエプラッツ台東のキャンセル状況分析～
株式会社リニエR リニエプラッツ台東 佐藤 翔太

ポスター発表：教育・学習・学校支援（連携等） 12:00~12:56

座長：丸山 梨恵（株式会社リニエL リニエプラッツ阿波座）

- P1-3-1 中国の大学生におけるICT学習と心身的健康状態の関連
東京福祉大学大学院 社会福祉学研究科 社会福祉学専攻 黄 盈
- P1-3-2 小児科領域での実習における学生とスタッフの感動体験
若楠療育医療センター 臨床心理士・公認心理師 木村佐宜子
- P1-3-3 インクルーシブ教育推進事業において作業療法士へ期待すること 教員の立場から
リハビリ発達支援ルームUTキッズ 福西 知史
- P1-3-4 卒業式に出たい！不登校児の想いを叶える連携支援
～保育所等訪問支援で繋ぐ地域連携～
株式会社リニエL リニエプラッツ本町、森ノ宮医療大学 金森 幸

- P1-3-5 放課後等デイサービスと訪問看護の連携により活動の幅が広がった不登校児の1事例
株式会社リニエL リニエプラッツ阿波座 桑原 英生
- P1-3-6 社会不安障害の不登校生徒に対する訪問作業療法が作業療法士への道を拓いた一事例
いろは訪問看護リハビリステーション、山形県立保健医療大学大学院 大戸 普賢
- P1-3-7 学校訪問支援にて地域創生の在り方を考える取り組み
PARCあしや 亀澤 康明

ポスター発表：家庭・社会的支援／多職種連携・チーム医療／自由演題 13:00～14:20

座長：石橋 明子（医療法人社団のびた あのねコドモくりにつく）

- P1-4-1 未成年未受診妊婦の飛び込み分娩後に多職種多機関で実施した母児支援について
イムス富士見総合病院 医療福祉相談室 社会福祉士・こども家庭ソーシャルワーカー 柳澤 功
- P1-4-2 AIアセスメントを活用した特性の可視化とチーム連携の効果
株式会社ヴィリング 中村 一彰
- P1-4-3 山形県上山市の相談支援体制と課題
～就学時の放課後等デイサービスの利用調整に焦点を当てて～
株式会社リニエR リニエ相談支援かみのやま 鷹巣 倫
- P1-4-4 小集団療育を担当するスタッフ間の相互理解がチームとしての専門性向上と
心理的負担の軽減に及ぼす効果
株式会社リニエR リニエプラッツかみのやま 菅野智佳子
- P1-4-5 医療型特定短期入所まんまと併設機関での看護師間連携
医療型特定短期入所まんまる 看護師 小峰 藍
- P1-4-6 多職種連携による保護者支援ツールの開発
医療法人社団のびた あのねコドモくりにつく 野呂 有希
- P1-4-7 イルカセラピーキャンプ ～対象児の家族支援について～
訪問看護リハビリステーション七つの海 原田あゆみ
- P1-4-8 発達障害児の母親が抱える困難さの構造分析 ―SCATとICFの視点から―
株式会社奏音まつやま 発達支援ルームでこボン、山形県立保健医療大学大学院 高須賀知恵子
- P1-4-9 都内相談支援事業所で働く作業療法士の支援ニーズとシーズ
アンケート調査の分析から
株式会社リニエR リニエ相談支援武蔵野 内田 美穂

- P1-4-10 放課後等デイサービスにおける慣用的時間概念への支援により苦手意識が軽減した一事例
株式会社リニエR リニエプラッツ山形 金田 悦子

ポスター発表:ハビリテーション支援 (症例) 15:20~16:24

座長:伊藤 香織 (株式会社奏音 経営事業部 副部長)

- P1-5-1 神経発達症児の肥満指導における絵カードアプリケーションの活用
医療法人社団のびた あのねコドモくりにつく 石田 輝也
- P1-5-2 運動発達遅滞児の 動作習得を促す事が出来た 理学療法士による介入
東京リハビリ整形外科クリニックおおた 高木 麻鈴
- P1-5-3 認知機能面を考慮した動作指導により転倒頻度が減少した男児の症例
東京リハビリ整形外科クリニックおおた 三浦まどか
- P1-5-4 小児科クリニックにおける乳児早期支援
～赤ちゃん体操教室『よちよち』の取り組み～
医療法人社団のびた あのねコドモくりにつく 杉山 実優
- P1-5-5 障害のある子どもに対する居場所支援
株式会社メディケア・リハビリ PARC (パルク) あしや 大澤 恵里
- P1-5-6 弛緩性麻痺の小児に対して、神経移行術後リハビリ介入による上肢機能の経過について
東京リハビリ整形外科クリニックおおた 直井 優芽
- P1-5-7 個別療育を通して対人意識が向上し自発的表出が増えた一症例
株式会社奏音 石井 果倫
- P1-5-8 小児リハビリテーションにおける目標設定に関する文献研究
株式会社リニエR リニエ訪問看護ステーション名取 丹野 友晶

ポスター発表:教育・学習・学校支援/在宅医療・医療的ケア (医ケア連携) 16:30~17:34

座長:石田 輝也 (医療法人社団のびた あのねコドモくりにつく)

- P1-6-1 複雑性医療が必要な在宅クリティカルケア児の支援効果の日米比較検証
東京福祉大学・大学院 加藤 洋子
- P1-6-2 小学校難聴学級が主導する地域の難聴教育学習会による多職種連携 (IPW) の取り組み
つくば市立竹園東小学校 奥沢 忍

- P1-6-3 視線入力でひらく肢体不自由児の可能性—主体的な学びを支える実践から—
山形県立ゆきわり養護学校 中学部 遠藤 麻里
- P1-6-4 『読み書き困難』をもつ不登校児の幼児期を振り返る
医療法人倉重こどもクリニック 宮本 有里
- P1-6-5 肢体不自由児の地域中学校進学を支える
～保育所等訪問支援・多職種連携にて～
株式会社リニエL リニエプラッツ阿波座 丸山 梨恵
- P1-6-6 本校の教育における認知特性の活用事例
～理解を促す学びへの転換を目指して～
社会福祉法人新生会 サンビレッジ国際医療福祉専門学校 廣瀬 武
- P1-6-7 重症心身障害児に対するノーリフティングケアの効果：ポジショニングの観点から
山形大学大学院 医学系研究科 看護学専攻 博士前期課程1年 小野寺 玲
- P1-6-8 小児訪問看護の対象拡大に向けて
～診断がつかない乳児支援を通して見えた可能性～
訪問看護リハビリステーション七つの海 台座 里芽

ポスター発表：多職種連携・チーム医療（リハ多職種） 17：40～18：44

座長：伊藤 詩奈（株式会社奏音 ThinkTank部 部長）

- P1-7-1 児童発達支援センターにおける多職種連携の保護者ニーズ
社会福祉法人JOY明日への息吹 児童発達支援センター joyひこばえ 西山 諒子
- P1-7-2 発達障害児の療育を多職種で行う施設での記録分析
株式会社リニエR リニエプラッツ二子玉川 平安 晃人
- P1-7-3 言語発達支援における音楽療法の活用
—多職種連携によるアプローチの検討—
洛和会京都音楽療法研究センター 峯 静香
- P1-7-4 場面緘黙児における 吃音と構音障害の治療経験
医療法人倉重こどもクリニック 志賀美代子
- P1-7-5 2組の親子同時支援の可能性を探る
～付き添い登校が続く親子へのグループ実践から～
医療法人社団のびた あのねコドモくりにつく 石橋 明子

- P1-7-6 多職種連携によるビジョントレーニングの協調運動技能への効果に関する予備調査
弘前大学大学院保健学研究科 小枝 周平
- P1-7-7 非定型発達児支援における地域ネットワーク構築の課題：専門職種間の認識比較に基づく実効性向上の模索
株式会社リニエR リニエプラッツかみのやま 加勢 泰庸
- P1-7-8 重症心身障害児向け放課後等デイサービスにおける理学療法士の役割と多職種連携の効果
株式会社リニエR リニエプラッツ台東 弓林 洋未

第5会場 練習室2（2階）

- コグトレワークショップ ①午前の部 10:10～11:10
- ②午後の部 17:00～18:00

プログラム 2月8日(日)

第1会場 大ホール (2階)

一般公開シンポジウム 9:30~10:50

座長：松田 友美 (山形大学 大学院医学系研究科看護学専攻 在宅看護学 教授)

学校で医療は教育に出会えるのか？：医療的ケア児を支える仕組みを探る

シンポジスト：古原 靖子 (山形市立東小学校 校長)

竹村 千明 (山形県医療的ケア児等支援センター 看護師)

武田 幸子 (山形県医療的ケア児等支援センター 医療社会福祉士; Medical Social Worker: MSW)

一般市民公開講座 11:10~12:10

座長：竹中佐江子 (株式会社リニエR 取締役)

共に創るインクルーシブな社会

講師：龍円あいり (東京都議会議員 都民ファーストの会)

ランチョンセミナー 12:40~13:40

共催：医療法人社団のびた

小児科医が警鐘する子どものSNSと脳の発達

講師：本田 真美 (医療法人社団のびた あのねコドモくりにつく 院長)

閉会式 13:40~13:50

第2会場 スタジオ1 (2階)

口述発表：小児診療・外科的領域 (OPE・症例他) 9:20~10:30

座長：松本 愛結 (有限会社リハシップ あい 医師)

O2-1-1 個々のニーズに合わせた手術プレパレーションの取り組み

イムス富士見総合病院小児科 軽部 春帆

O2-1-2 精巣上体炎の原因疾患としての精巣付属器捻転の検討

茨城県立こども病院 小児超音波診断・研修センター 浅井 宣美

O2-1-3 先天性心疾患を有する18トリソミーにおける在宅医療移行にむけた姑息手術の成績

山形大学 医学部 外科学第二講座 水本 雅弘

- 2-1-4 **特徴的な頭蓋変形から生後早期に頭蓋縫合早期癒合症と診断した1例**
独立行政法人国立病院機構 仙台医療センター小児科 渡邊 浩司
- 2-1-5 **Wound retractorの二重装着により臍部創より摘出した毛髪胃石の1例**
福岡市立こども病院 小児外科 林田 真
- 2-1-6 **鼠径ヘルニア嵌頓と鑑別を要し、精巣捻転により精巣摘出術を要した2例**
長崎大学外科学講座 小児外科 尾方 信仁
- 2-1-7 **自転車のリヤチャイルドシートで脚を広げ受傷した小児大腿骨骨折の2例**
東京女子医科大学八千代医療センター 西野 直人

口述発表：小児診療・外科的領域（誤飲・口腔・その他） 10：30～11：30

座長：本田 真美（医療法人社団のびた あのねコドモくりにつく 院長）

- 2-2-1 **四国地域の耳鼻咽喉科クリニックにおける聞き取り困難症への対応の現状**
大阪公立大学 石田 彩
- 2-2-2 **本院小児歯科における骨系統疾患外来の現状**
大阪大学大学院歯学研究科小児歯科学講座 末廣 雄登
- 2-2-3 **思春期ガミースマイルを口腔内装置により審美的・機能的に改善した1例**
横浜ゆうみらい小児歯科・矯正歯科 有田浩一朗
- 2-2-4 **小児むずむず脚症候群における環境調整と家族の関与の重要性**
済生会宇都宮病院 小児科 高橋 努
- 2-2-5 **外観上判別困難なナッツ含有食品の誤食についての検討**
NHO嬉野医療センター 森田 駿
- 2-2-6 **高吸水性樹脂製ボールを誤飲した1例**
山形大学医学部 小児科学講座、公立置賜総合病院 小児科 北岡 佳苗

口述発表：多職種連携・チーム医療（症例・多職種・他） 11：40～13：00

座長：赤塚 郁奈（株式会社リニエR リニエ訪問看護ステーション山形/リニエプラッツ山形 所長）

- 2-3-1 **愛情遮断症候群に多職種で対応し成長・発達の改善がみられた一例**
—①医師の立場から—
JCHO北海道病院 小児科医師 伏屋 菜穂

- 2-3-2 愛情遮断症候群に多職種で対応し成長・発達の改善がみられた一例
 –②MSWの立場から
 JCHO北海道病院 ソーシャルワーカー 山後奈緒子
- 2-3-3 愛情遮断症候群に多職種で対応し成長・発達の改善がみられた一例
 –③看護師の立場から
 JCHO北海道病院 看護師 松田 唯
- 2-3-4 乳幼児の安全な睡眠環境を目的とした睡眠行動の簡便な計測方法の開発
 東京科学大学工学院 稲垣 賢
- 2-3-5 リハ医ママから見たこどもと親への多職種支援の必要性和重要性
 有限会社 リハシップ あい、出水総合医療センター リハビリテーション科 松本 愛結
- 2-3-6 児童発達支援センターにおける真の多職種連携ケアとさらなる挑戦
 社会福祉法人若楠・児童発達支援センター 橋本 武夫
- 2-3-7 体重増加不良・経口摂取困難な小児に対する多職種チームアプローチの実践
 大阪母子医療センター 消化器・内分泌科、秋田大学大学院医学系研究科 総合診療・検査診断学講座 肥塚慶之助
- 2-3-8 多職種連携において小児科医として介入を行った未成年妊婦の一例
 イムス富士見総合病院 小児科 医師 清宮 綾子

第3会場 スタジオ2 (3階)

口述発表：自由演題／在宅医療・医療的ケア／教育・学習・学校支援／小児診療・外科的領域 9：20～10：30

座長：加勢 泰庸（株式会社リニエR 山形県統括責任者）

- 2-4-1 「高機能」の苦悩—仮面を外す勇気—
 Sciensense（サイエンセンス） 深田 真育
- 2-4-2 小児の口腔機能と食習慣の関係
 株式会社ロッテ 中央研究所 川村 淳
- 2-4-3 幼稚園・認定こども園における慢性疾患児の就園に関する実態と課題
 山形県難病相談支援センター 漆山 歩
- 2-4-4 新生児閉鎖型保育器内ニオイ環境と関連因子の多変量解析
 ウェルネス・デザイン合同会社 村田知佐恵
- 2-4-5 歌舞伎町から救急搬送された家出少女（ト一横キッズ）16例の心理社会的背景
 慶應義塾大学医学部 小児科 中村俊一郎

○2-4-6 小児期扁平足について
笠岡第一病院 小坂 義樹

○2-4-7 乳児股関節脱臼に対する全出生児を対象とした選択的超音波スクリーニング
名古屋大学 整形外科 澤村 健太

口述発表：在宅医療・医療的ケア（医療的ケア児・家庭支援） 10：40～11：30

座長：澤村 清美（株式会社リニエR 看護部 副部長）

○2-5-1 医療的ケアを要するSMA当事者の学齢期教育体験と卒後課題 ―共生社会への展望―
当事者、NPO法人親子の未来を支える会 アドバイザー 花崎 碧士

○2-5-2 発達障害児を育てる保護者を支えるわらべうた遊びの実践
広島県呉特別支援学校 大本美智子

○2-5-3 演劇教育×非認知能力 <<演劇が子どもの心の発育に効果的な理由>>
一般社団法人子どもが笑えば世界が笑う 大和田美帆

○2-5-4 医療的ケア児等の薬物療法に係る薬剤師業務と教育の現状
明治薬科大学 薬学部、小児薬物療法研究会 石川 洋一

○2-5-5 医療的ケア児（者）の終末期を支える病院―地域連携
宮城県立こども病院 神経科 川嶋 有朋

口述発表：教育・学習・学校支援（医療連携・虐待・他） 11：40～13：00

座長：八重樫貴之（株式会社リニエR リニエプラッツ二子玉川 所長）

○2-6-1 札幌市小慢自立支援事業 北大子どもサポートセンター アルモニにおける活動報告
北大子どもサポートセンターアルモニ さくましほこ

○2-6-2 AIを用いた知的能力症児に対する支援策の試み
地方独立行政法人りんくう総合医療センター 聴覚・言語支援センター 間 三千夫

○2-6-3 性暴力被害児童への途切れない支援
栃木県済生会宇都宮乳児院 児童家庭支援センター 荻津 守

○2-6-4 ICTを活用した小学校ことばの教室の教員と言語聴覚士の連携による授業実践
一般社団法人ことばサポートネット 埜藤 奈美

○2-6-5 バウンダリー（領域）を伝える必要性
大阪公立大学医学部附属病院 新山 愛子

- 2-6-6 **学習障害児の評価と指導に対するAI活用の試み**
地方独立行政法人りんくう総合医療センター 聴覚・言語支援センター 中原 啓
- 2-6-7 **母親による絞首事例における地域多職種連携の必要性**
川崎市立川崎病院 小児科、平塚市民病院 小児科 窪田 義己
- 2-6-8 **地方大学病院における虐待対策チームの課題**
和歌山県立医科大学 小児科学講座 井中 将吾

第4会場 練習室1 (2階)

ポスター発表：多職種連携・チーム医療 9：40～10：52

座長：荻原 萌 (株式会社リニエR 学会推進室 人財育成推進課)

- P2-1-1 **ロボットを介した健康指導におけるコミュニケーションの探究
～絵本アプリ活用から～**
株式会社プレイノバージョン 吉田 諒太
- P2-1-2 **整形外科児対象の病気説明 –低学年児のペルテス病ってなに？–**
あいち小児保健医療総合センター 医療保育専門士・ホスピタル・プレイ・スペシャリスト 棚瀬 佳見
- P2-1-3 **診療看護師 (NP) がスキンケア指導に介入した小児アトピー性皮膚炎の一例**
藤田医科大学病院 FNP室 住田 千颯
- P2-1-4 **自分の病気を知ろう～小学4年生の整形患者に向けた関わり～**
あいち小児保健医療総合センター 看護師 笠原 礼美
- P2-1-5 **外国籍の発達障害児に対する多職種連携について**
医療法人倉重こどもクリニック 緒方 祐子
- P2-1-6 **訪問作業療法と通所支援の目標共有が自閉スペクトラム症児の社会参加に与える効果**
株式会社奏音 徳本 和希
- P2-1-7 **放課後等デイサービスにおけるサービス提供記録のKH Coderによる定量解析**
株式会社リニエR リニエプラッツかみのやま 吉田 優介
- P2-1-8 **PTの導入によりST介入の課題遂行が改善した症例**
東京リハビリ整形外科クリニックおおた 佐々木優太
- P2-1-9 **当事業団における高度医療的ケア児に対する施設間連携の取り組み**
聖隷浜松病院 上野 駿

座長：大戸 普賢（いろは訪問看護リハビリステーション／山形県立保健医療大学大学院博士後期課程）

- P2-2-1 DCD児の早期支援に向けた保育士研修とリハビリテーション専門職との連携の可能性**
山形県立保健医療大学 保健医療学部 理学療法学科 渋谷美乃里
- P2-2-2 発達障害児の感情表現を支える絵本制作を通じたアプローチ**
NIC International School 本田 琉夏
- P2-2-3 神経発達症児支援における多職種連携と早期療育の重要性**
株式会社メグシィ 斎藤 愛澄
- P2-2-4 乳幼児健診時に、耳音響放射（OAE）検査を導入して**
医療法人倉重こどもクリニック 野中 綾乃
- P2-2-5 小児科診療所におけるSpotFire[®]の意義**
医療法人倉重こどもクリニック 島田 千尋
- P2-2-6 当センター外来診療における補装具作製の現状報告**
都立府中療育センター リハビリテーション科 吉村 卓也
- P2-2-7 Zoomを使用したオンラインの関わりにより音声を伴うコミュニケーションが増大し、学校場面でも音声表出が増えた場面緘黙傾向児の症例**
総和中央病院 児童発達支援事業所はなもも 石井 汰樹
- P2-2-8 リングX症候群の女兒に対する構音訓練の導入と経過**
児童発達支援事業所 ステラ幼児教室 鶴田 桃香
- P2-2-9 コグトレにより聴覚的ワーキングメモリーが向上した人工内耳装用児の一例**
横浜市立大学附属市民総合医療センター 耳鼻咽喉科 蜂谷 純
- P2-2-10 適切な動作指導により上肢動作改善及び拘縮予防に繋がった上腕骨顆上骨折術後の症例**
東京リハビリ整形外科クリニックおおた 吉村 湧介

第5会場 練習室2（2階）

コグトレワークショップ ③午前の部 9：30～10：30